

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2016年2月19日（当初設定日）から無期限です。	
運用方針	信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行うことを基本とします。	
主要投資対象	当ファンド	ピクテ・ロボ・マザーファンド受益証券
	マザーファンド	日本を含む世界のロボティクス関連企業の株式
運用方法	①マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として日本を含む世界のロボティクス関連企業の株式に投資します。 ②実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	
主な投資制限	当ファンド	①株式への実質投資割合には制限を設けません。ただし、未上場株式および未登録株式への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。 ②同一銘柄の株式への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。 ③外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
	マザーファンド	①株式への投資割合には制限を設けません。ただし、未上場株式および未登録株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。 ②同一銘柄の株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。 ③外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎決算時に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。 ①分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。 ②収益分配金額は、基準価額の水準および市況動向等を勘案して委託者が決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。 ③留保益の運用については、特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。	



PICTET

1805

iTrustロボ

## 運用報告書(全体版)

第7期

決算日：2023年2月20日

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、「iTrustロボ」は、2023年2月20日に第7期の決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

ピクテ・ジャパン株式会社

東京都千代田区丸の内2-6-1

お問い合わせ窓口

投資信託営業部

電話番号 03-3212-1805

受付時間：委託者の営業日の午前9時から午後5時まで

ホームページ：www.pictet.co.jp

## ○最近5期の運用実績

決算期	基準 (分配)	基準価額			株組 入比	式率	純資 産額
		税分	込配	み金 期騰 落			
	円		円		%		百万円
3期(2019年2月18日)	17,803		0		2.5	93.4	5,047
4期(2020年2月18日)	21,883		0		22.9	93.5	4,524
5期(2021年2月18日)	33,041		0		51.0	92.2	6,552
6期(2022年2月18日)	33,104		0		0.2	95.3	7,113
7期(2023年2月20日)	33,736		0		1.9	95.7	7,362

(注) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「株式組入比率」は、実質比率を記載しています。

(注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数がないためベンチマークおよび参考指数は設定していません。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準	基準価額		株組 入比	式率
		騰	落		
(期首) 2022年2月18日	円		%		%
	33,104		—		95.3
2月末	32,873		△ 0.7		95.5
3月末	35,122		6.1		95.3
4月末	31,412		△ 5.1		93.3
5月末	32,545		△ 1.7		93.6
6月末	30,647		△ 7.4		97.7
7月末	32,955		△ 0.5		98.9
8月末	31,821		△ 3.9		98.2
9月末	29,429		△11.1		96.5
10月末	31,068		△ 6.2		93.6
11月末	30,968		△ 6.5		95.2
12月末	29,114		△12.1		94.2
2023年1月末	32,115		△ 3.0		94.5
(期末) 2023年2月20日	33,736		1.9		95.7

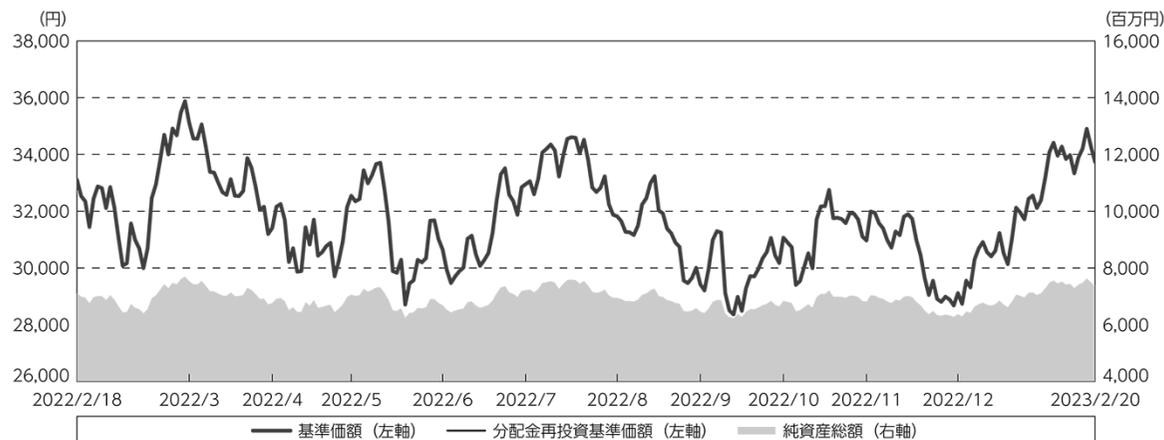
(注) 騰落率は期首比です。

(注) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「株式組入比率」は、実質比率を記載しています。

(注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数がないためベンチマークおよび参考指数は設定していません。

## 基準価額等の推移

当期の基準価額は、1.9%の上昇となりました。



期首：33,104円

期末：33,736円 (既払分配金(税込み)：0円)

騰落率： 1.9% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、期首(2022年2月18日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数がないためベンチマークおよび参考指数は設定していません。

## ◇主な変動要因

上昇↑・円に対して米ドルなどが上昇したこと

下落↓・実質的に組入れているリングセントラル(米国、ソフトウェア・サービス)やアルファベット(米国、メディア・娯楽)などの株価が下落したこと

- ・世界の株式市場は、期首から2022年3月中旬にかけては、米連邦準備制度理事会（FRB）の金融引き締め方針やウクライナ情勢の緊迫化などを背景に下落しました。3月後半には、ロシアとウクライナの和平交渉進展期待などを背景に一時上昇する場面もありましたが、長引く都市封鎖（ロックダウン）を背景とした中国景気減速への警戒感や欧州中央銀行（ECB）による量的金融緩和政策の終了および利上げ表明、FRBによる金融引き締めの加速も懸念されたことなどから、7月中旬にかけて下落しました。その後は市場予想を上回る企業業績や、欧米の長期金利の低下などが好感され一旦は上昇しましたが、FRBによる積極的な利上げが続くとの見方を背景に世界的に景気後退懸念が強まったことや、中国での新型コロナウイルス感染拡大などが嫌気され、10月上旬にかけて下落しました。10月中旬以降は10月、11月の米消費者物価指数（CPI）の鈍化を受け米国の利上げペースが減速するとの期待感から、12月末にかけて上昇しました。2023年1月以降は、FRBが利上げペースを減速させるとの観測に加えて、中国のゼロコロナ政策解除による景気回復への期待が高まったことなどを背景に、期末にかけて上昇しました。
- ・為替市場では、期首以降は、FRBが高止まりするインフレを受けて金融引き締め姿勢を加速させた一方、日本銀行は緩和的な金融政策を維持するとの見方が強まったことから、2022年10月中旬にかけて大幅な米ドル高・円安となりました。その後2023年1月中旬にかけては、財務省・日本銀行による為替介入の実施や、日本銀行によるイールドカーブ・コントロール（長短金利操作）政策の長期金利の許容変動幅拡大などを受けて、米ドル安・円高が進行しました。期末にかけては、日本政府が日本銀行の次期総裁に起用する方針を固めた植田氏が当面は金融緩和の継続が必要との考えを示したことなどから、米ドル高・円安となりました。期を通してみると、米ドルは対円で上昇しました。

## 組入状況

当ファンドが主要投資対象とするピクテ・ロボ・マザーファンド受益証券への投資比率を高位に維持してまいりました。実質組入外貨建資産については、為替ヘッジを行いませんでした。

### <ピクテ・ロボ・マザーファンドの組入状況>

主に日本を含む世界のロボティクス関連企業の株式に投資を行ってまいりました。

#### ◇国・地域別組入比率

##### 【期首】

国・地域名	組入比率
米国	65.8%
日本	10.9%
ドイツ	7.6%
オランダ	4.2%
台湾	2.6%
中国	2.2%
カナダ	1.7%
スウェーデン	0.9%

##### 【期末】

国・地域名	組入比率
米国	61.3%
日本	9.8%
ドイツ	9.7%
オランダ	7.1%
台湾	2.7%
カナダ	2.0%
中国	1.4%
スウェーデン	1.1%
フランス	1.1%

#### ◇業種別組入比率

##### 【期首】

業種名	組入比率
ソフトウェア・サービス	35.2%
半導体・半導体製造装置	33.5%
資本財	15.5%
メディア・娯楽	6.6%
ヘルスケア機器・サービス	2.4%
テクノロジー・ハードウェア／機器	1.5%
耐久消費財・アパレル	0.9%

##### 【期末】

業種名	組入比率
半導体・半導体製造装置	37.0%
ソフトウェア・サービス	33.7%
資本財	15.5%
メディア・娯楽	7.3%
ヘルスケア機器・サービス	2.8%

(注) 組入比率は、マザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。また、業種はGICS（世界産業分類基準）の産業グループに基づき表示しています。

## ◇組入上位10銘柄

### 【期首】

銘柄名	国名	業種名	組入比率
セールスフォース・ドットコム	米国	ソフトウェア	5.5%
シーメンス	ドイツ	コングロマリット	4.6%
アルファベット	米国	インタラクティブ・メディアおよびサービス	4.4%
ラムリサーチ	米国	半導体・半導体製造装置	4.4%
マイクロン・テクノロジー	米国	半導体・半導体製造装置	4.1%
Zendesk	米国	ソフトウェア	3.8%
KLA	米国	半導体・半導体製造装置	3.7%
クアルコム	米国	半導体・半導体製造装置	3.4%
NXPセミコンダクターズ	オランダ	半導体・半導体製造装置	3.4%
スプラנק	米国	ソフトウェア	3.3%

### 【期末】

銘柄名	国名	業種名	組入比率
セールスフォース	米国	ソフトウェア	6.2%
アルファベット	米国	インタラクティブ・メディアおよびサービス	5.9%
シーメンス	ドイツ	コングロマリット	5.7%
KLA	米国	半導体・半導体製造装置	4.1%
シノプシス	米国	ソフトウェア	4.0%
インフィニオンテクノロジーズ	ドイツ	半導体・半導体製造装置	4.0%
マイクロチップ・テクノロジー	米国	半導体・半導体製造装置	3.7%
ラムリサーチ	米国	半導体・半導体製造装置	3.6%
ASMLホールディング	オランダ	半導体・半導体製造装置	3.6%
スプラנק	米国	ソフトウェア	3.5%



(注) 組入比率は、マザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。また、業種はGICS（世界産業分類基準）の産業に基づき表示しています。

期末の組入上位銘柄は、

- セールスフォース : 顧客企業向けにクラウドベースのCRM（顧客関係管理）システムやSFA（営業支援）システムなどを提供するエンタープライズ・ソフトウェア企業。
- アルファベット : グーグルを傘下にもつ持株会社。ウェブベースの検索、広告、地図などを子会社を通じて提供。人工知能（AI）や自動運転の研究・開発においても世界をリード。
- シーメンス : ファクトリーオートメーション（生産自動化）、発電所の設計・建設、医療機器など、幅広い分野の工業製品、消費者向け製品事業を世界的に展開。
- KLA : 半導体業界向けに生産のプロセス制御や歩留まり管理などのソリューションを提供。
- シノプシス : 電子機器、半導体などの設計作業を自動化し支援するためのソフトウェアなどを提供。

などとなりました。

## 収益分配金

当期の収益分配は、基準価額の水準および市況動向等を勘案し、見送りとさせていただきます。

なお、収益分配にあてなかった留保益の運用については、特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

### ◇分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第7期
	2022年2月19日～ 2023年2月20日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	23,735

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は小数点以下を四捨五入して表示しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## ○今後の運用方針

### (1) 投資環境

投資家の大きな関心事であったインフレに関しては、FRBをはじめとした主要国・地域の中央銀行による積極的な金融引き締めによって徐々に低下してきた一方、過度な金融引き締めによる景気後退への懸念は高まっており、今後も株式市場はボラティリティの高い展開が想定されます。ロボティクス関連企業は、少子高齢化を背景とした様々な社会的ニーズの高まりや、技術革新などを背景にロボットの実用化が急速に進んでおり、中長期的に成長が期待できるものと考えています。また今後M&A(合併・買収)が活発化すると考えており、経営戦略によって将来の企業価値の明暗は分かれると考えます。

### (2) 投資方針

ピクテ・ロボ・マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として日本を含む世界のロボティクス関連企業の株式に投資します。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。

### <マザーファンド>

日本を含む世界のロボティクス関連企業の株式を主要投資対象とし、信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行うことを基本とします。特定の銘柄、国や通貨に集中せず分散投資を基本としリスク分散を図ります。外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。引き続き相対的にファンダメンタルズが健全で、安定したビジネスモデルを有する企業に注目していきます。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2022年 2 月19日～2023年 2 月20日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 466	% 1.471	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(228)	(0.719)	・ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、各種情報提供等、基準価額の算出等の対価
（ 販 売 会 社 ）	(228)	(0.719)	・購入後の情報提供、交付運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続等の対価
（ 受 託 会 社 ）	( 11)	(0.033)	・ファンドの財産の保管・管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	10	0.032	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
（ 株 式 ）	( 10)	(0.032)	・売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有 価 証 券 取 引 税	2	0.006	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数
（ 株 式 ）	( 2)	(0.006)	・有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) そ の 他 費 用	17	0.052	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	( 12)	(0.036)	・保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	( 2)	(0.007)	・監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	( 3)	(0.009)	・その他は、運用報告書等法定の開示書類の作成等に要する費用その他信託事務の処理等に要する諸費用
合 計	495	1.561	
期中の平均基準価額は、31,672円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

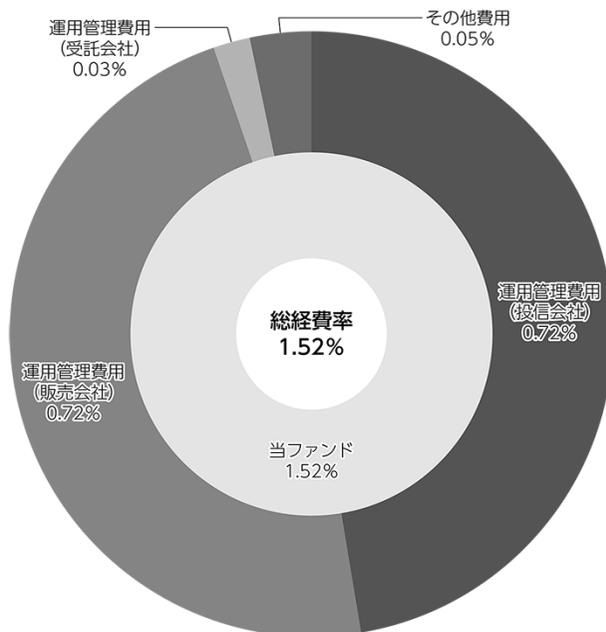
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.52%です。



(注) 上記の費用は、「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## ○売買及び取引の状況

(2022年2月19日～2023年2月20日)

### 親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
ピクテ・ロボ・マザーファンド	151,008千口	528,200千円	148,134千口	533,260千円

(注) 単位未満は切り捨てています。

## ○株式売買比率

(2022年2月19日～2023年2月20日)

### 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期
	ピクテ・ロボ・マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	4,152,948千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	6,590,820千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.63

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均です。

(注) 単位未満は切り捨てています。

## ○利害関係人との取引状況等

(2022年2月19日～2023年2月20日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2022年2月19日～2023年2月20日)

該当事項はございません。

## ○特定資産の価格等の調査

(2022年2月19日～2023年2月20日)

該当事項はございません。

## ○組入資産の明細

(2023年2月20日現在)

### 親投資信託残高

銘	柄	期首(前期末)	当 期 末	
		口 数	口 数	評 価 額
		千口	千口	千円
ピクテ・ロボ・マザーファンド		1,940,289	1,943,162	7,326,889

(注) 単位未満は切り捨てています。

## ○投資信託財産の構成

(2023年2月20日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ピクテ・ロボ・マザーファンド	7,326,889	98.5
コール・ローン等、その他	114,964	1.5
投資信託財産総額	7,441,853	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨てています。

(注) ピクテ・ロボ・マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(6,523,870千円)の投資信託財産総額(7,352,079千円)に対する比率は88.7%です。

(注) ピクテ・ロボ・マザーファンドにおける外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、当期末における邦貨換算レートは、1米ドル=134.45円、1カナダドル=99.65円、1英ポンド=161.61円、1ユーロ=143.53円、1スイスフラン=145.24円、1スウェーデンクローネ=12.84円、1香港ドル=17.14円、1新台幣ドル=4.4187円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2023年2月20日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	7,441,853,342
コール・ローン等	101,053,349
ビクテ・ロボ・マザーファンド(評価額)	7,326,889,993
未収入金	13,910,000
(B) 負債	79,229,462
未払解約金	27,599,622
未払信託報酬	51,084,086
未払利息	276
その他未払費用	545,478
(C) 純資産総額(A-B)	7,362,623,880
元本	2,182,425,251
次期繰越損益金	5,180,198,629
(D) 受益権総口数	2,182,425,251口
1万口当たり基準価額(C/D)	33,736円

<注記事項(当運用報告書作成時点では、監査未了です。)>

(貸借対照表関係)

(注) 期首元本額	2,148,981,470円
期中追加設定元本額	403,467,044円
期中一部解約元本額	370,023,263円
(注) 1口当たり純資産額	3,3736円

○損益の状況 (2022年2月19日～2023年2月20日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 40,113
支払利息	△ 40,113
(B) 有価証券売買損益	292,026,635
売買益	316,269,034
売買損	△ 24,242,399
(C) 信託報酬等	△ 102,647,651
(D) 当期損益金(A+B+C)	189,338,871
(E) 前期繰越損益金	1,452,709,619
(F) 追加信託差損益金	3,538,150,139
(配当等相当額)	( 2,083,385,144)
(売買損益相当額)	( 1,454,764,995)
(G) 計(D+E+F)	5,180,198,629
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	5,180,198,629
追加信託差損益金	3,538,150,139
(配当等相当額)	( 2,084,135,278)
(売買損益相当額)	( 1,454,014,861)
分配準備積立金	1,642,048,490

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(35,853,021円)、費用控除後の有価証券等損益額(76,519,698円)、信託約款に規定する収益調整金(3,538,150,139円)および分配準備積立金(1,529,675,771円)より分配対象収益は5,180,198,629円(10,000口当たり23,735円)ですが、当期に分配した金額はありません。

(注) 当ファンドが組入れているマザーファンドにおいて、信託財産の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用  
当該マザーファンドに係る信託財産の純資産総額のうち、当ファンドに対応する部分の年率0.80%以内の額

○お知らせ

委託者の商号変更に伴い所要の約款変更を行いました。

# ピクテ・ロボ・マザーファンド

## 運用状況のご報告

第7期（決算日：2023年2月20日）  
（計算期間：2022年2月19日～2023年2月20日）

### 受益者のみなさまへ

「ピクテ・ロボ・マザーファンド」は、「iTrustロボ」および「ピクテ・ロボ・ファンド（適格機関投資家専用）」が投資対象とするマザーファンドで、信託財産の実質的な運用を行っております。

以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第7期の運用状況をご報告申し上げます。

●当マザーファンドの仕組みは次の通りです。

運 用 方 針	信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行うことを基本とします。
主 要 投 資 対 象	日本を含む世界のロボティクス関連企業の株式
主 な 投 資 制 限	株式への投資割合…制限を設けません。 外貨建資産への投資割合…制限を設けません。

## ○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準	価 額		株 組 入 比 率	純 資 産 額
		期 騰 落	中 率		
	円		%		百万円
3期(2019年2月18日)	18,749		4.0	93.8	5,024
4期(2020年2月18日)	23,402		24.8	94.0	4,502
5期(2021年2月18日)	35,867		53.3	92.7	6,520
6期(2022年2月18日)	36,480		1.7	95.8	7,078
7期(2023年2月20日)	37,706		3.4	96.2	7,327

(注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数がないためベンチマークおよび参考指数は設定していません。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		株 組 入 比 率
		騰 落	率	
(期 首) 2022年2月18日	円		%	%
	36,480		—	95.8
2月末	36,239		△ 0.7	96.0
3月末	38,778		6.3	95.6
4月末	34,709		△ 4.9	93.6
5月末	36,011		△ 1.3	93.8
6月末	33,950		△ 6.9	97.8
7月末	36,549		0.2	98.9
8月末	35,327		△ 3.2	98.7
9月末	32,701		△10.4	97.0
10月末	34,572		△ 5.2	93.8
11月末	34,503		△ 5.4	95.3
12月末	32,476		△11.0	94.2
2023年1月末	35,869		△ 1.7	94.4
(期 末) 2023年2月20日	37,706		3.4	96.2

(注) 騰落率は期首比です。

(注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数がないためベンチマークおよび参考指数は設定していません。

### 基準価額等の推移

当期の基準価額は、3.4%の上昇となりました。



### ◇主な変動要因

上昇↑・円に対して米ドルなどが上昇したこと

下落↓・組入れているリングセントラル（米国、ソフトウェア・サービス）やアルファベット（米国、メディア・娯楽）などの株価が下落したこと

### 投資環境

3ページをご参照ください。

### 組入状況

4ページをご参照ください。

### ○今後の運用方針

6ページをご参照ください。

○1万口当たりの費用明細

(2022年2月19日～2023年2月20日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	円 11 (11)	% 0.032 (0.032)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ・売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	2 (2)	0.006 (0.006)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ・有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用 ) ( そ の 他 )	13 (13) (0)	0.037 (0.036) (0.000)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 ・保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用 ・その他は、信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	26	0.075	
期中の平均基準価額は、35,140円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## ○売買及び取引の状況

(2022年2月19日～2023年2月20日)

### 株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
国内	上場	千株 16	千円 203,736	千株 22	千円 239,463
	アメリカ	百株 1,161 ( 215)	千米ドル 10,690 ( —)	百株 1,262 ( 82)	千米ドル 12,018 ( 1,366)
外 国	カナダ	13	千カナダドル 189	4	千カナダドル 62
	ユーロ		千ユーロ		千ユーロ
	ドイツ	232	886	136	536
	フランス	153	531	—	—
	オランダ	26	1,380	3	222
国	スウェーデン	291	千スウェーデンクローネ 1,931	—	千スウェーデンクローネ —
	香港	97 ( 656)	千香港ドル 1,236 ( 10,680)	333	千香港ドル 4,548
	台湾	170	千新台幣ドル 8,602	—	千新台幣ドル —

(注) 金額は受渡代金です。

(注) 単位未満は切り捨てています。

(注) ( )内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれていません。

## ○株式売買比率

(2022年2月19日～2023年2月20日)

### 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	4,152,948千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	6,590,820千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.63

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均です。

(注) 単位未満は切り捨てています。

## ○利害関係人との取引状況等

(2022年2月19日～2023年2月20日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○特定資産の価格等の調査

(2022年2月19日～2023年2月20日)

該当事項はございません。

## ○組入資産の明細

(2023年2月20日現在)

### 国内株式

銘	柄	期首(前期末)	当 期 末	
		株 数	株 数	評 価 額
		千株	千株	千円
<b>機械 (32.7%)</b>				
	SMC	2.2	2.2	147,268
	ダイフク	10.4	12	86,880
<b>電気機器 (67.3%)</b>				
	安川電機	38.1	33.5	172,525
	日本電産	14.5	10.7	74,172
	ファナック	9.6	10.4	236,080
合 計	株 数 ・ 金 額	74	68	716,925
	銘 柄 数 < 比 率 >	5	5	< 9.8% >

(注) 銘柄欄の( )内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率です。

(注) 評価額欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率です。

(注) 評価額の単位未満は切り捨てています。

# 外国株式

銘柄	株数	期末				業種等
		株数	評価額		業種等	
			外貨建金額	邦貨換算金額		
(アメリカ)	百株	百株	千米ドル	千円		
RINGCENTRAL INC-CLASS A	75	285	1,055	141,960	ソフトウェア・サービス	
SALESFORCE INC	170	206	3,404	457,710	ソフトウェア・サービス	
TWILIO INC - A	64	190	1,346	181,033	ソフトウェア・サービス	
ZENDESK INC	200	-	-	-	ソフトウェア・サービス	
ADVANCED MICRO DEVICES	76	203	1,599	215,065	半導体・半導体製造装置	
ALPHABET INC-CL C	10	338	3,205	430,949	メディア・娯楽	
ALTAIR ENGINEERING INC - A	169	208	1,157	155,653	ソフトウェア・サービス	
AUTODESK INC	48	21	468	62,938	ソフトウェア・サービス	
BAIDU INC - SPON ADR	82	-	-	-	メディア・娯楽	
DROPOBOX INC-CLASS A	558	379	806	108,403	ソフトウェア・サービス	
FIVE9 INC	145	159	1,281	172,339	ソフトウェア・サービス	
IPG PHOTONICS CORP	68	-	-	-	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	
INTUITIVE SURGICAL INC	34	36	883	118,817	ヘルスケア機器・サービス	
IROBOT CORP	95	-	-	-	耐久消費財・アパレル	
KLA CORPORATION	62	57	2,228	299,583	半導体・半導体製造装置	
LAM RESEARCH CORP	46	39	1,956	263,033	半導体・半導体製造装置	
MICROCHIP TECHNOLOGY INC	275	239	1,992	267,889	半導体・半導体製造装置	
MICRON TECHNOLOGY INC	266	147	871	117,199	半導体・半導体製造装置	
NVIDIA CORP	17	25	541	72,753	半導体・半導体製造装置	
PTC INC	175	97	1,270	170,813	ソフトウェア・サービス	
QUALCOMM INC	127	125	1,608	216,280	半導体・半導体製造装置	
SPLUNK INC	175	183	1,928	259,291	ソフトウェア・サービス	
SYNOPSYS INC	67	62	2,201	295,990	ソフトウェア・サービス	
TERADYNE INC	154	174	1,839	247,342	半導体・半導体製造装置	
WORKDAY INC-CLASS A	66	93	1,737	233,570	ソフトウェア・サービス	
NXP SEMICONDUCTORS NV	113	101	1,921	258,325	半導体・半導体製造装置	
小計	株数・金額	3,347	3,379	35,306	4,746,946	
	銘柄数<比率>	26	22	-	<64.8%>	
(カナダ)				千カナダドル		
KINAXIS INC	83	93	1,487	148,226	ソフトウェア・サービス	
小計	株数・金額	83	93	1,487	148,226	
	銘柄数<比率>	1	1	-	<2.0%>	
(ユーロ…ドイツ)				千ユーロ		
SIEMENS AG-REG	179	200	2,913	418,230	資本財	
INFINEON TECHNOLOGIES AG	502	577	2,033	291,840	半導体・半導体製造装置	
小計	株数・金額	682	777	4,947	710,071	
	銘柄数<比率>	2	2	-	<9.7%>	
(ユーロ…フランス)						
DASSAULT SYSTEMES SE	-	153	575	82,552	ソフトウェア・サービス	
小計	株数・金額	-	153	575	82,552	
	銘柄数<比率>	-	1	-	<1.1%>	
(ユーロ…オランダ)						
ASML HOLDING NV	6	29	1,826	262,088	半導体・半導体製造装置	
小計	株数・金額	6	29	1,826	262,088	
	銘柄数<比率>	1	1	-	<3.6%>	
ユーロ計	株数・金額	688	960	7,348	1,054,711	
	銘柄数<比率>	3	4	-	<14.4%>	
(スウェーデン)				千スウェーデンクローネ		
ELEKTA AB-B SHS	570	862	6,505	83,528	ヘルスケア機器・サービス	
小計	株数・金額	570	862	6,505	83,528	
	銘柄数<比率>	1	1	-	<1.1%>	

銘柄	株数	当期		業種等	
		株数	評価額		
			外貨建金額		邦貨換算金額
(香港) BAIDU INC-CLASS A	百株 —	百株 421	千香港ドル 5,954	千円 102,053	メディア・娯楽
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	— 1	5,954 —	102,053 <1.4%>	
(台湾) TAIWAN SEMICONDUCTOR MANUFAC	690	860	千新台幣ドル 44,548	196,844	半導体・半導体製造装置
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	690 1	860 1	44,548 —	196,844 <2.7%>
合計	株数・金額 銘柄数<比率>	5,381 32	6,578 30	— —	6,332,310 <86.4%>

(注) 邦貨換算金額は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の<>内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率です。

(注) 株数・評価額の単位未満は切り捨てています。

(注) 一印は組入れがありません。

## ○投資信託財産の構成

(2023年2月20日現在)

項目	当期末	
	評価額	比率
株式	千円 7,049,236	% 95.9
コール・ローン等、その他	302,843	4.1
投資信託財産総額	7,352,079	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨てています。

(注) 当期末における外貨建純資産(6,523,870千円)の投資信託財産総額(7,352,079千円)に対する比率は88.7%です。

(注) 外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、当期末における邦貨換算レートは、1米ドル=134.45円、1カナダドル=99.65円、1英ポンド=161.61円、1ユーロ=143.53円、1スイスフラン=145.24円、1スウェーデンクローネ=12.84円、1香港ドル=17.14円、1新台幣ドル=4.4187円です。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2023年2月20日現在)

項 目	当 期 末	円
(A) 資産	7,352,079,728	
コール・ローン等	279,524,880	
株式(評価額)	7,049,236,024	
未収入金	19,194,647	
未収配当金	4,124,177	
(B) 負債	24,949,487	
未払金	11,038,517	
未払解約金	13,910,000	
未払利息	274	
その他未払費用	696	
(C) 純資産総額(A-B)	7,327,130,241	
元本	1,943,221,054	
次期繰越損益金	5,383,909,187	
(D) 受益権総口数	1,943,221,054口	
1万口当たり基準価額(C/D)	37,706円	

<注記事項>

(貸借対照表関係)

(注) 期首元本額 1,940,347,545円

期中追加設定元本額 151,008,362円

期中一部解約元本額 148,134,853円

(注) 1口当たり純資産額 3,7706円

(注) 期末における元本の内訳

iTrustロボ 1,943,162,890円

ビクテ・ロボ・ファンド(適格機関投資家専用) 58,164円

## ○損益の状況 (2022年2月19日～2023年2月20日)

項 目	当 期	円
(A) 配当等収益	55,602,975	
受取配当金	54,794,659	
受取利息	1,037,791	
その他収益金	688	
支払利息	△ 230,163	
(B) 有価証券売買損益	200,704,735	
売買益	1,311,640,401	
売買損	△1,110,935,666	
(C) 保管費用等	△ 2,536,297	
(D) 当期損益金(A+B+C)	253,771,413	
(E) 前期繰越損益金	5,138,072,483	
(F) 追加信託差損益金	377,191,638	
(G) 解約差損益金	△ 385,126,347	
(H) 計(D+E+F+G)	5,383,909,187	
次期繰越損益金(H)	5,383,909,187	

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

## ○お知らせ

委託者の商号変更に伴い所要の約款変更を行いました。